

まちづくり基本方針の点検・評価結果資料(めざすべき将来像 詳細)

→ 各項目の平均値を5段階(A(最高)~E(最低))で評価

めざすべき将来像		後退した	かわらない	少し進んだ	進んだ	かなり進んだ	平均値	評価	各市町評価の分布 (※ 各市町の人口をもとに重み付け)				
都市中心部	災害に強い都市構造となっている	1	2	3	4	5	2.9	A	0%	74%	22%	5%	0%
	・事前復興まちづくり計画が策定され、大規模災害による都市機能喪失時に、仮設住宅の建設やガレキの処理、復興まちづくりを迅速に行える体制が整っている	0%	74%	22%	5%	0%	2.3		74%	22%	5%		
	・建築物は免震制震構造により安全が確保され、また雨水は貯留システムにより非常時や溜水に活用されている	0%	47%	53%	0%	0%	2.5		47%	53%			
	・緊急輸送路や避難路、避難所となる公共施設、津波避難ビルなどが安全に整備され、分散型のエネルギーネットワークと相まって災害時十分な機能を発揮している	0%	25%	24%	47%	5%	3.3		25%	24%	47%	5%	
	・防災に関する最先端の知見や震災の教訓が整理され、伝承されている	0%	9%	26%	61%	5%	3.6		9%	26%	61%	5%	
	都市全体が安心の拠点となっている	1	2	3	4	5	3.1	A	0%	44%	21%	35%	0%
	・誰もが安心して生活し活動でき、いつでも必要なモノを入手し、必要な情報へアクセスすることが可能になっている	0%	44%	21%	35%	0%	2.9		44%	21%	35%		
	・まちの防犯交通システムが整備され、安全に暮らしている	0%	26%	16%	58%	0%	3.3		26%	16%	58%		
	エネルギー源の多様化・分散化が進んでいる	1	2	3	4	5	2.8	B	0%	57%	8%	35%	0%
	・大規模な建築物や開発地には、自立したエネルギー源や蓄電設備、分散型のエネルギーネットワークが整備され、地域のエネルギー利用が最適化されている	0%	57%	8%	35%	0%	2.8		57%	8%	35%		
低炭素なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	2.6	C	0%	29%	20%	51%	0%	
・マンションやオフィスの省エネ化や創エネ化が進んでいる	0%	29%	20%	51%	0%	3.2		29%	20%	51%			
・まちなかでは、フリーパスを使った電気バスや超小型電気自動車等を活用した交通ネットワークが形成されている	0%	100%	0%	0%	0%	2.0		100%					
緑あふれる都市空間となっている	1	2	3	4	5	2.7	B	0%	24%	30%	46%	0%	
・道路や公園、河川、建築物の屋上等を活用した緑のネットワークが形成され、都市は様々な生物であふれている	0%	24%	30%	46%	0%	3.2		24%	30%	46%			
・風の道を考慮した計画により、施設の配置やデザインがコントロールされている	0%	83%	17%	0%	0%	2.2		83%	17%				
歴史や生活文化が都市の魅力を高めている	1	2	3	4	5	2.9	A	0%	33%	67%	0%	0%	
・地域の歴史文化を背景としたまちなみや建築物が保存継承され、地域の愛着が育成されている	0%	33%	67%	0%	0%	2.7		33%	67%				
・地域資源やそれを活かしたサービスの集積が新たな産業や人々を誘引している	0%	13%	66%	22%	0%	3.1		13%	66%	22%			
多様な都市機能の集積再編が新たな活力を生み出している	1	2	3	4	5	2.7	B	0%	24%	76%	0%	0%	
・地域のマネジメントにより、使われなくなった地域資産は新たな事業や活動のために投資され、イノベーションの原動力となっている	0%	24%	76%	0%	0%	2.8		24%	76%				
・県内から創造的な人材が集い、あらゆるモノやサービス、情報が必要なときに入手し活用でき、常に多くの人で賑わっている	0%	36%	64%	0%	0%	2.6		36%	64%				
・基幹産業からコミュニティビジネスまで、様々なレベルで誰もが働ける環境が整っている	0%	43%	47%	10%	0%	2.7		43%	47%	10%			
多様な住まい方・空間による多様な交流が実現している	1	2	3	4	5	2.4	D	0%	58%	42%	0%	0%	
・コネクティブハウジングやシェアハウス、ルームシェアなど、様々な住宅が整備され、個人の希望により多様な住まい方が選択できるようになっている	0%	58%	42%	0%	0%	2.4		58%	42%				
・共同住宅には交流空間が整備され、住民の趣味活動も活発で、都市内の多様な交流施設での出会いが新たなネットワークを生み出している	12%	42%	35%	10%	0%	2.4		12%	42%	35%	10%		
地域間の交流と連携が進んでいる	1	2	3	4	5	2.7	B	0%	30%	70%	0%	0%	
・都市と農村のパートナーシップ等により、様々な地域間交流が進んでいる	0%	30%	70%	0%	0%	2.7		30%	70%				
広域的なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	2.4	D	0%	56%	44%	0%	0%	
・高速道路や空港、港湾などの利便性が一層高まることで、各都市が必要な機能を分担し、先進医療施設や国際研究機関の集積が進み、全国や全世界から人が集まっている	0%	56%	44%	0%	0%	2.4		56%	44%				
地域の防災・減災対策が向上している	1	2	3	4	5	3.2	A	0%	14%	39%	47%	0%	
・建築物や宅地の耐震性が確保されている	0%	14%	39%	47%	0%	3.3		14%	39%	47%			
・一部危険な宅地では建築が制限されている	0%	33%	67%	0%	0%	2.7		33%	67%				
・自主防災組織や防犯組織が活発に活動し、地域の防災や防犯体制、要援護者の支援体制が確立している	0%	19%	11%	69%	0%	3.5		19%	11%	69%			
高齢者等が安心して暮らせる環境になっている	1	2	3	4	5	2.7	B	0%	91%	8%	1%	0%	
・センター地区の商業施設や公共施設の改修が進み、誰もが生きがいを持ち安心して暮らしている	0%	91%	8%	1%	0%	2.1		91%	8%	1%			
・医療福祉サービスが充実している	0%	18%	77%	5%	0%	2.9		18%	77%	5%			
・生活利便サービスが充実し快適に暮らしている	0%	35%	65%	0%	0%	2.7		35%	65%				
・団地内には高齢者等の移動も容易な公共交通が整備されている	0%	43%	10%	47%	0%	3.0		43%	10%	47%			
住宅・都市の低炭素化の先進地域になっている	1	2	3	4	5	2.2	E	0%	64%	7%	28%	0%	
・発電設備や省エネ設備によるゼロエネルギー型住宅が開発されている	0%	64%	7%	28%	0%	2.6		64%	7%	28%			
・地域による太陽光発電設備の集団導入や団地内の空き地等への創エネ施設の立地が進み、スマートコミュニティによる効率的なエネルギー活用が実現している	0%	81%	19%	0%	0%	2.2		81%	19%				
・新規開発団地は創エネに配慮した空間構成となっている	0%	100%	0%	0%	0%	2.0		100%					
・カーシェアリングの他、電気バスや燃料電池バスが主要交通となっている	0%	100%	0%	0%	0%	2.0		100%					
自然との共生の先進地域になっている	1	2	3	4	5	2.4	D	0%	57%	43%	0%	0%	
・ブロック塀は生垣に代わり、まちなかに緑が溢れ、安らぎの空間が形成されている	0%	57%	43%	0%	0%	2.4		57%	43%				
・地域内のピオトープには近郊から鳥や昆虫が訪れている	0%	85%	0%	0%	15%	2.5		85%	15%				
・郊外住宅地の一部は、地域と行政の協働により緑地化され、住民の憩いの場になっている	0%	72%	28%	0%	0%	2.3		72%	28%				
地域内に新たなサービスや「しごと」が生まれている	1	2	3	4	5	2.1	E	49%	47%	4%	0%	0%	
・医療や介護、購買施設等が徒歩圏内に立地している	49%	47%	4%	0%	0%	1.6		49%	47%	4%			
・住民の工夫により、地域資産を活用した新しいサービスが生まれている	0%	30%	70%	0%	0%	2.7		30%	70%				
まちの景観や空き空間は地域により管理活用されている	1	2	3	4	5	2.3	D	0%	99%	0%	1%	0%	
・団地の文化や景観が地域の新たな資産になっている	0%	99%	0%	1%	0%	2.0		99%	1%				
・景観ルールにより、ゆとりある美しいまちなかが保全され、沿道の景観や土地利用もコントロールされている	0%	67%	32%	1%	0%	2.3		67%	32%	1%			
・住宅の管理や維持保全への意識が高まり、適切な維持管理や更新と、中古住宅流通が進んでいる	0%	27.7%	71.8%	0.5%	0%	2.7		27.7%	71.8%	0.5%			
・地域主体の空き地空き家の取得活用が進んでいる	0%	67%	33%	0%	0%	2.3		67%	33%				
・住宅地は宅地の細分化防止やゆとりの確保に重点を置いた計画がなされている	2%	79%	19%	0%	0%	2.2		2%	79%	19%			
多世代による多様なコミュニティが実現している	1	2	3	4	5	2.4	D	0%	51%	49%	0%	0%	
・都市へのアクセスの良さや地域内のゆとりある空間などにより、様々なライフスタイルが可能となっている	0%	51%	49%	0%	0%	2.5		51%	49%				
・シェアハウスやグループホーム、地域内の住替えなどにより、多世代がバランスよく居住している	0.5%	99.5%	0%	0%	0%	2.0	0.5%	99.5%					
・都市中心部に勤務する若年世帯がゆとりある住環境を持つ郊外住宅地で子育て時期を過ごすことが多くなっている	0.5%	21%	78%	0%	0%	2.8	0.5%	21%	78%				
高齢者が活躍し、地域をマネジメントしている	1	2	3	4	5	2.6	C	0.5%	37.7%	61.8%	0%	0%	
・空き店舗等を活用した趣味活動やコミュニティビジネスなど、多様な人材が自由時間を過ごし、交流している	0.5%	37.7%	61.8%	0%	0%	2.6	0.5%	37.7%	61.8%				
・経験豊かな住民が地域のリーダーとなり、住民主体の地域マネジメントが進んでいる	0%	37%	63%	0%	0%	2.6		37%	63%				

めざすべき将来像		後退した	かわらない	少し進んだ	進んだ	かなり進んだ	平均値	評価	各市町評価の分布 (※ 各市町の人口をもとに重み付け)					
都市	安全・安心	周辺地域の災害対策視点となっている	1	2	3	4	5	2.7	B	2.3	71%	26%	3%	
		地域生活の安心の核となっている	1	2	3	4	5	2.6	C	2.4	54%	34%	10%	
		地域エネルギーが自立している	1	2	3	4	5	2.3	D	2.4	67%	27%	6%	
	魅力活力	地域の個性が発見・発信され、新たなしごとを生んでいる	1	2	3	4	5	2.4	D	2.3	70%	29%	1%	
		まちなかの利便性が向上し、賑わいが生まれている	1	2	3	4	5	2.2	E	2.3	73%	23%	4%	
		内外の多様な人々による交流が進んでいる	1	2	3	4	5	2.7	B	2.7	51%	40%	3%	
		広域交通と地域交通の結節点となっている	1	2	3	4	5	2.4	D	2.4	65%	31%	4%	
		広域的なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	2.5	C	2.3	78%	17%	10%	
		地域の防災減災対策が向上している	1	2	3	4	5	2.4	D	2.2	78%	21%	1%	
	多自然地域	安全・安心	誰もが安心して暮らしている	1	2	3	4	5	2.5	C	2.2	81%	18%	1%
			都市へのエネルギーの供給源となっている	1	2	3	4	5	2.4	D	2.1	87%	13%	1%
			自然環境や農地が次世代へ継承されている	1	2	3	4	5	2.9	A	2.5	51%	44%	5%
魅力活力		地域の個性と豊かな住環境が大切にされている	1	2	3	4	5	2.4	D	2.6	46%	51%	3%	
		地域資源が新たな地域の魅力やしごとを生んでいる	1	2	3	4	5	2.6	C	2.7	33%	64%	3%	
		地域への愛着が次世代へのつなぐと新たな担い手を育てている	1	2	3	4	5	2.2	E	2.2	88%	8%	4%	
		村移りなどにより集落の暮らしが維持されている	1	2	3	4	5	2.3	D	2.0	96%	0%	3%	
		近隣集落等への村移りにより、集落の適正な機能が維持されている	1	2	3	4	5	2.0	D	2.6	7%	23%	68%	
		地域活性化に積極的に取り組む集落は、定住者や来訪者が増加し、持続人口が増加している	1	2	3	4	5	2.6	D	2.6	7%	23%	68%	